

<p>【技術の名称】 ニューバースパイルⅢ工法 -鋼管杭圧入工法- (改定)</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第10-14号 改 性能証明発効日：2011年10月26日</p> <p>【取得者】 株式会社新生工務</p>
---	--

【技術の概要】

本技術は、鋼管の先端に独自形状の三角形の鋼製掘削刃を3個装備したものを地盤中に圧入し、これを杭として利用する技術である。本技術は、2010年8月26日に(財)日本建築総合試験所建築技術性能証明 第10-14号として性能証明されたものであり、今回の改定では、鋼管の厚さの追加、最大施工深さの変更および杭の打ち止め管理方法の追加を行っている。

【技術開発の趣旨】

本技術は、主に小規模建築物を対象とし、低騒音・低振動で、かつ、狭小地での施工性を考慮して開発した杭工法である。本工法の特徴は、独自形状の掘削刃を杭先端に装備することで、圧入（圧入困難な場合の回転貫入も含む）の際の杭先端部での排土を容易にして施工性を向上させていること、および、圧入力を測定して管理することで確実な支持力管理を実現していることである。また、本工法をアンダーピニング工事に適用する際に用いるための溶接用継手部品を開発し、アンダーピニング工事における溶接継手の品質の向上を図っている。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、鉛直支持力についてのみを対象としており、以下の通りである。

申込者が提案する「ニューバースパイルⅢ工法 製造・施工基準」に基づいて製造、施工された鋼管杭の鉛直荷重に対する許容支持力を定める際に必要な地盤の極限鉛直支持力は、「ニューバースパイルⅢ工法 設計基準」に定めるスウェーデン式サウンディング試験の結果に基づく支持力算定式で適切に評価できると判断される。



図1. 杭先端部

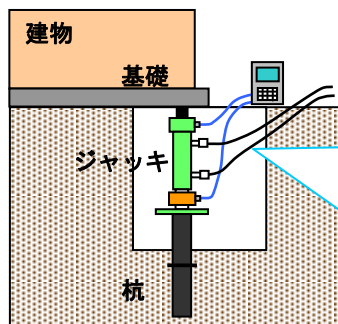


図2. アンダーピニング施工



図3. 継手部品の概要



図4. 杭施工状況



図5. ジャッキ・計測器

【本技術の問合せ先】

株式会社新生工務 技術課

担当者：徐 霖

E-mail：xu@shinseikomu.co.jp

〒463-0013 愛知県名古屋守山区小幡中 1-8-17

TEL：052-758-1750

FAX：052-758-1751